

主催 β-グルカン協議会

β-グルカン協議会 設立 15 周年記念講演会

開催日 2026 年 3 月 14 日(土)

会 場 大妻女子大学 千代田キャンパス A 棟 1 階 A150 講義室

会 長 大野尚仁 東京薬科大学名誉教授

後 援 農林水産省、大妻女子大学、健康食品産業協議会、
日本食品科学工学会、日本食品免疫学会、日本食物纖維学会

講演会参加費 無料

懇親会参加費 1,000 円 (当日受付にて、お支払い下さい。当日申込も可)

講演会プログラム

12:00 受付開始

13:00 来賓挨拶 農林水産省

13:05～13:25 会長講演（講演 20 分）

「βグルカン：研究開発と協議会のあゆみ」

大野尚仁（β-グルカン協議会会长、東京薬科大学 名誉教授）

13:25～14:10 特別講演（講演 40 分+質疑応答 5 分）

「様々なβグルカンの機能性 —食物繊維研究の視点から—」

青江誠一郎（大妻女子大学家政学部 教授）

座長) 大野尚仁

14:10～15:00 講演 ① 「ペット向けサプリメントの現状と未来」（講演 45 分+質疑応答 5 分）

「獣医療と栄養学からみたペットサプリメントの現在地

—βグルカンを例に“科学的根拠・安全性・表示”を考える—」

左向敏紀（日本ペット栄養学会会長、日本獣医生命科学大学 名誉教授）

「腸から変わるペットの健康 —βグルカンが拓くペットのヘルスケア—」

小沼守（千葉科学大学危機管理学部 特担教授、大相模動物クリニック 名誉院長）

座長) 大野尚仁

15:00～15:15 休憩 会員企業展示

15:15~15:50 講演 ② (講演 30 分+質疑応答 5 分)

「菌類由来 1,3-β-グルカンの構造的多様性と免疫機能」

安達禎之 (東京薬科大学薬学部 教授)

座長) 青江誠一郎

15:50~16:25 講演 ③ (講演 30 分+質疑応答 5 分)

「機能性表示食品の動きと健康食品産業協議会の取り組み」

西村栄作 (健康食品産業協議会 ガイドライン分科会長)

座長) 西沢邦浩

16:25~17:05 講演 ④ (講演 30 分+質疑応答 5 分)

「腸ツボを考える:消化管に存在する多様な受容体の最新情報」

内藤裕二 (京都府立医科大学大学院医学研究科 教授)

座長) 西沢邦浩

17:05~17:30 パネルディスカッション (25 分)

司会 西沢邦浩 (日経BP総合研究所 客員研究員)

登壇者 青江誠一郎、内藤裕二、安達禎之、左向敏紀

17:30 閉会の挨拶

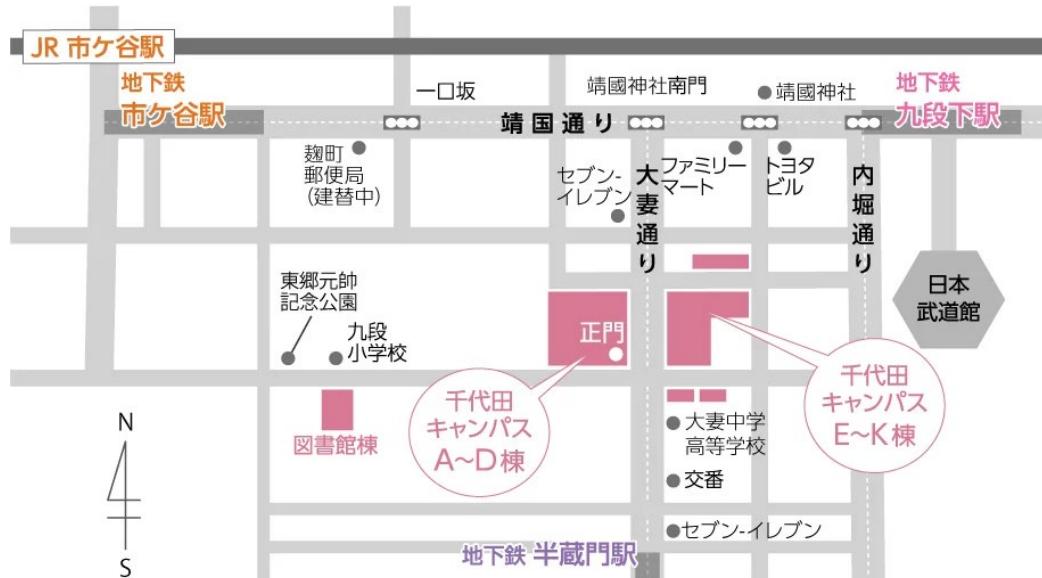
β-グルカン協議会会长 大野尚仁

17:35 閉会

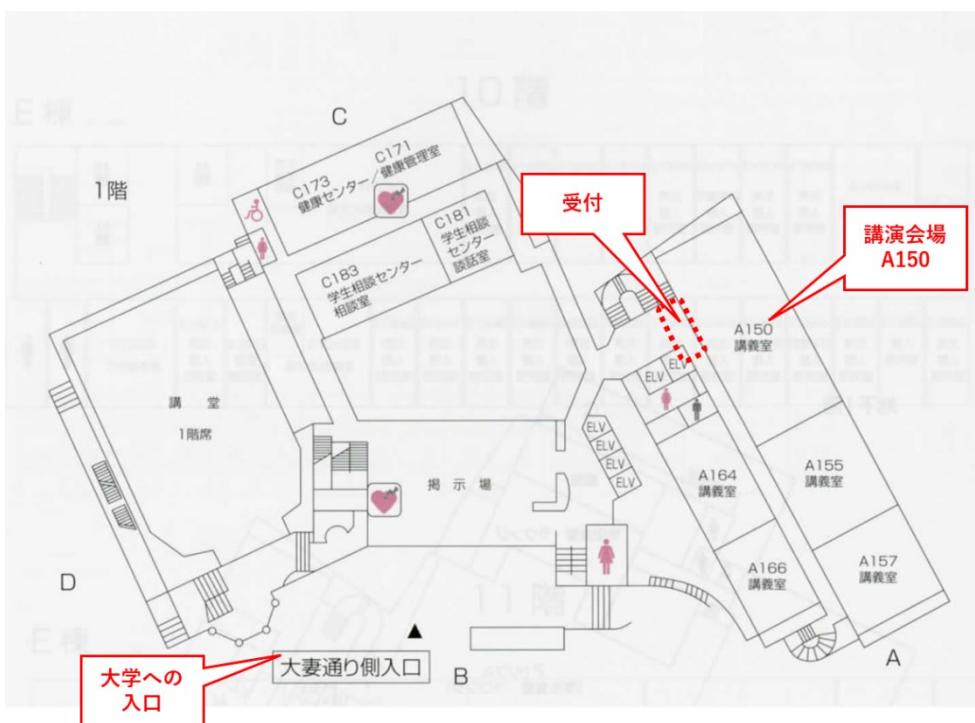
18:00~19:30 懇親会 (大妻女子大学内カフェテリア A棟地下1F)

●会場(大妻女子大学 A棟)までのアクセス

<https://www.otsuma.ac.jp/access/>



●大学内の案内図



※) トイレは、地下 1F、地上 2F、3F にもございます。

※)懇親会に参加される方は、受付時に 1,000 円お支払い下さい。当日受付も可能です。

懇親会会場は地下1F のカフェテリアです。

会長講演

「βグルカン：研究開発と協議会のあゆみ」

β-グルカン協議会会長、東京薬科大学 名誉教授

大野 尚仁

略歴



1977年東京薬科大学薬学部卒、薬剤師。1982年 同薬学研究科修了、薬学博士。同薬学部第Ⅰ微生物学教室助手、講師、助教授を経て、2000年同薬学部免疫学教室教授。2020年同定年退職、名誉教授。
日本医真菌学会理事・名誉会員、関東医真菌懇話会顧問、日本生体防御学会理事、エンドトキシン研究会世話人、日本細菌学会評議員、日本医学会医学用語委員会委員、IJMM_editor、千葉県薬剤師会検査センター理事、などを務める。

要旨

βグルカン協議会は、2009年9月に発起企業5社により発足し、私は2016年11月より会長を務めている。βグルカンは自然界に広く分布し、多様な生理機能を発揮することが知られている。その研究領域は、糖質科学、食品科学、発酵学、感染症学、アレルギー学、腫瘍学、免疫学、生態学、公衆衛生学などに及び、特定の学問分野にとどまらない、きわめて間口の広い分野として発展してきた。

本講演では、βグルカン研究の科学的変遷を振り返るとともに、βグルカン協議会の設立以降の15年が、科学と社会を結びつける重要な転換期であったことを概観する。近年、オミックス研究やマイクロバイオーム解析、公共データベースの整備といった技術革新に加え、生成AIの登場により、生命科学は「経験的に語る対象」から「論理的に理解する対象」へと大きく変化しつつある。

こうした変化は、超高齢社会における健康長寿の実現、ならびに機能性食品を中心とした新たな産業創出への期待とも強く結びついている。βグルカン研究が有する分野横断性と長い時間軸は、健康長寿産業の基盤として、今後さらにその重要性を増すものと考えられる。

特別講演

「様々な β グルカンの機能性 —食物纖維研究の視点から—」

大妻女子大学家政学部 教授

青江 誠一郎

略歴



大妻女子大学家政学部食物学科教授（農学博士）。1984 年千葉大学大学院園芸学研究科修士課程修了、1984 年雪印乳業（株）入社、2003 年大妻女子大学家政学部助教授、2007 年大妻女子大学家政学部教授、現在に至る。研究は穀物や藻類中の食物纖維の機能性研究がテーマ。日本食物纖維学会理事長、日本栄養・食糧学会理事・関東支部長、日本栄養改善学会評議員を務める。2007 年日本栄養改善学会・学会賞受賞、2010 年日本食物纖維学会・学会賞受賞、2022 年日本栄養・食糧学会・学会賞受賞。

要旨

β-グルカンは、起源によって機能性が異なる。食物纖維研究の視点から β-グルカンを分類すると、穀物由来と穀物以外の β-グルカンに分けられる。穀物由来 β-グルカンの大部分は $\beta(1 \rightarrow 3)$, $\beta(1 \rightarrow 4)$ 結合で構成される。穀物由来の β-グルカンの摂取によって消化管内の粘度が上昇すると、糖質・脂質の吸収を抑制して代謝を改善する。さらに、穀物由来 β-グルカンの大腸内発酵により、短鎖脂肪酸の産生を促進し、様々な生理機能を発揮する。一方、穀物以外の β-グルカンとして、酵母や真菌由来の β-グルカンが挙げられる。直鎖状の $\beta(1 \rightarrow 3)$ グルカンと $\beta(1 \rightarrow 6)$ 結合による分岐鎖から構成される。これらは免疫調節作用が強く、デクチン-1 などの受容体を介して免疫細胞を活性化する。藻類由来の β-グルカンは、もう一つの重要な供給源であり、4 つのタイプに分類される。穀物以外の β-グルカンの免疫活性化を介した抗ウイルス作用や抗腫瘍作用は、溶解性、分子量などの物理化学的特性によって影響を受ける。穀物以外の β-グルカンは、多くの場合不溶性で食物纖維としての機能は穀類由来とは異なるが、低分子化などにより機能が変化する。これら特徴をレビューする。

講演 ① 「ペット向けサプリメントの現状と未来」

「獣医療と栄養学からみたペットサプリメントの現在地 —βグルカンを例に“科学的根拠・安全性・表示”を考える—」

日本ペット栄養学会会長、日本獣医生命科学大学 名誉教授

左向 敏紀



略歴

1980 年日本獣医生命科学大学卒、獣医師。2006 年獣医学部教授。
2020 年退職、日本獣医生命科学大学・名誉教授。

現在、日本ペット栄養学会・会長、日本獣医内分泌研究会・会長。日本糖尿病・肥満動物学会・名誉会員、日本獣医生命科学大学・同窓会長。

糖尿病・内分泌疾患を専門とし、現在も久米川駅前動物病院にて臨床に携わる。

要 旨

近年、ペットの高齢化や慢性疾患の増加に伴い、サプリメントを活用した栄養管理への関心が高まっている。獣医療の現場では、糖尿病や肝疾患などの管理を目的として、食物繊維や植物由来成分、免疫関連素材などが補助的に用いられてきた。一方で、ペット向けサプリメントはヒト用とは異なり、科学的根拠の整理や安全性評価、表示の考え方が必ずしも体系化されていないのが現状である。

本講演では、獣医療と栄養学の視点からペットサプリメントの現状を俯瞰し、機能性成分を取り巻く科学的根拠や安全性、表示の課題について整理する。

講演 ① 「ペット向けサプリメントの現状と未来」

「腸から変わるペットの健康 —βグルカンが拓くペットのヘルスケア—」

千葉科学大学危機管理学部 特担教授、大相模動物クリニック 名誉院長

小沼 守

略歴



1991年日本大学農獣医学部卒、獣医師、2011年同大学院獣医学研究科卒、博士（獣医学）、1995年おぬま動物病院院長（現、大相模動物クリニック名誉院長）、2017年千葉科学大学危機管理学部動物危機管理学科准教授、教授を経て2024年特担教授。

筑波大学医学医療系客員研究員、東京農工大学非常勤講師、日本サプリメント協会ペット栄養部会長、ペット栄養学会動物用サプリメント研究推進委員会委員、獣医アトピー・アレルギー・免疫学会編集委員、などを務める。

要旨

キノコはβ-グルカンを主要な生物活性成分として含み、免疫調節、代謝改善、腸内微生物叢制御、さらにはがんを含む慢性疾患への関与がヒトおよびペットで報告されてきました。特にキノコ由来β-グルカンは、単一の免疫賦活物質ではなく、腸内微生物叢に作用するプレバイオティクスとして全身の恒常性維持に寄与する点が重要です。

近年、ヒト医療において加齢に伴う免疫変容や慢性炎症、腸内環境の破綻が重要課題となる中、同様の現象が顕著に観察される対象として「ペットの高齢化」が注目されています。ただし、犬猫はヒトと生活環境や食習慣を共有し、加齢性疾患や腫瘍性疾患を自然発症する点で、介入研究ではなく“自然発症モデル”としての価値を有します。ただし、ヒトで得られた知見をそのままペットへ適用することは科学的に妥当ではなく、種差・薬理差を踏まえた慎重な検討が不可欠です。

本講演では、β-グルカンを「ヒト医療の延長としてのペット」ではなく、「相互に示唆を与える比較生物学的モデル」として位置づけを、臨床歴35年の中で得られた臨床症例を通じてβ-グルカンの有用性と限界を科学的に考察します。

講演 ②

「菌類由来 1,3-β-グルカンの構造的多様性と免疫機能」

東京薬科大学薬学部 教授

安達 祐之

略歴



1990年 東京薬科大学薬学部卒、薬剤師。1990年 同大学院薬学研究科修了、薬学博士。同薬学部 第一微生物学教室助手、講師、助教授（准教授）を経て、2021年同学部免疫学教室教授。

日本医真菌学会代議員、内毒素・LPS 研究会運営委員、日本細菌学会評議委員、日本生体防御学会理事、Microbiology and Immunology（日本細菌学会・日本ウイルス学会・日本生体防御学会機関誌）の生体防御分野のAssociate Editorなどを務める。

要旨

β-グルカンは、キノコや酵母などに含まれる多糖であり、健康に関わる成分として長年にわたり研究が進められてきた。なかでも菌類由来の 1,3-β-グルカンは、免疫細胞により直接認識されることが知られている。一方で、その生体作用は一様ではなく、分子の構造的な違いによって大きく影響を受ける。菌類由来 β-グルカンには、主鎖構造に加えて側鎖の有無や長さ、分子量、三次元構造、さらに水に溶けた状態で存在するか、あるいは粒子として存在するかなど、多様な性質がみられる。こうした違いは、免疫細胞表面に存在する受容体 Dectin-1 による認識に関係し、その結果、細胞内のシグナルや細胞応答の現れ方にも違いをもたらす。

本講演では、粒子状 β-グルカンが示す特徴的な免疫応答と、可溶型 β-グルカンとの機能の違いを中心に、これまでに蓄積してきた研究成果を整理して紹介し、β-グルカン研究を理解するうえで留意すべき点についても触れたい。これらの知見は、免疫学の基礎研究だけでなく、食品や機能性素材として β-グルカンを評価する際にも重要と思われる。β-グルカンを単なる「成分名」としてではなく、「分子構造的視点」で捉えることが、今後の研究や応用の発展につながると考えている。

講演 ③

「機能性表示食品の動きと健康食品産業協議会の取り組み」

健康食品産業協議会 ガイドライン分科会長

西村 栄作



略歴

1995年 森永製菓株式会社 入社 現在に至る。2001～2005年 国立感染症研究所 口腔科学部 協力研究員。2004年 千葉大学自然科学研究科 博士(理学)。

一般社団法人 健康食品産業協議会理事・ガイドライン分科会(分科会長)・エビデンスレビュー評価委員会(事務局長)、公益財団法人 日本健康・栄養食品協会理事、などを務める。

要旨

機能性表示食品は制度開始10年で市場規模が7,000億円超、健康食品市場の約4分の1を占め、届出は2025年10月時点で累積1万件を超える一方、2023年6月の機能性根拠に関する措置命令や2024年3月の紅麹関連サプリによる健康被害により制度への不信が顕在化した。これを受け消費者庁は迅速に検討会を開催し、2024年9月に通知レベルであった届出ガイドラインを府令の食品表示基準へ格上げするとともに、健康被害の即時報告、サプリメントのGMP義務化、届出情報の更新制導入等により安全性確保の枠組みを強化した。個別企業のみでは解決困難な課題が多く、業界団体を介した行政との連携が不可欠である。一般社団法人健康食品産業協議会は行政との窓口として機能しており、本講演では、制度改正の概要、最近の届出のポイント、ガイドライン分科会の活動など、最近の取組を概説する。

講演 ④

「腸ツボを考える：消化管に存在する多様な受容体の最新情報」

京都府立医科大学大学院医学研究科 教授

内藤 裕二

略歴



1983 年京都府立医科大学卒業、2001 年米国ルイジアナ州立大学医学部分子細胞生理学教室客員教授として渡米。帰国後は、2008 年京都府立医科大学大学院医学研究科消化器内科学准教授を経て、2021 年から現職。農林水産省農林水産技術会議委員、2025 大阪・関西万博大阪パビリオンアドバイザー、若狭おばま御食国大使を兼務している。著書、健康の土台をつくる腸内細菌の科学（日経 BP 東京 2024 年）が話題に。

要旨

消化管は消化・吸収の機能だけでなく、様々な化学的・物理的刺激を感受するセンサーとしての役割を担っている。このセンサーは、より高度な免疫機能、内分泌機能、神経機能を制御するためのシステムとされている。2020年、この多彩な消化管受容体を刺激することは、まるで「足つぼ」が生体の各臓器に影響を与えていた様と類似しているため、「腸ツボ」という言葉を提案した（府医大誌 2020, 129: 709）。ユーグレナ由来パラミロンは消化管内で全く分解されないにもかかわらず、マウス、ヒトに対して抗疲労、メタボ抑制、脂肪肝抑制など様々な作用を示すことが明らかにされている。さらに、免疫機能に関するヒト試験により風邪様症状の改善、単球-T 細胞系の免疫機能調節作用などを明らかにしてきた（J Functional Foods 2023, 109: 105804）。最近、*C.elegans* を用いた実験系によりパラミロンの関わる腸ツボを明らかにする検討を行った。結果、パラミロンは *C.elegans* の寿命を延長させ、老化マーカーリポフスチンの沈着を抑制し、そのシグナルとして DAF16 を介した抗酸化システムの誘導を介することを見出した。さらに、これらの抗老化シグナルは DECTIN-1 受容体欠損により完全にキャンセルされ、DECTIN-2、PIEZO-1 受容体の関与はなかった（Sci Rep 2025, 15: 42202）。パラミロンが DECTIN-1 受容体を介して抗老化シグナルを活性化している可能性を明らかにすることことができた。

パネルディスカッション

日経BP総合研究所 客員研究員、おいしい健康ラボ所長

西沢 邦浩

略歴

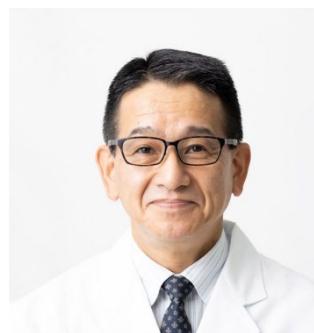


1984年早稲田大学卒業。1991年日経BP入社。2004年『日経ヘルス』編集長。2008年『日経ヘルス プルミエ』編集長。2016年日経BP総研マーケティング戦略研究所主席研究員。2018年株式会社サルタ・プレスを設立し代表取締役、日経BP総合研究所客員研究員に。2025年おいしい健康ラボ所長に就任。日本腎臓財団評議員、ライオン歯科衛生研究所理事などを務める。著書に『日本人のための科学的に正しい食事術』ほか。

登壇者



青江 誠一郎



内藤 裕二



安達 穎之



左向 敏紀

協賛企業

株式会社アウレオ

株式会社エムマジック

株式会社大麦工房ロア

カルビー株式会社

株式会社坂本バイオ

株式会社神鋼環境ソリューション

東栄新薬株式会社

みたけ食品工業株式会社

株式会社明治

株式会社ユーグレナ

(敬称略、五十音順)

 β-グルカン協議会

β-グルカン協議会のご紹介



会長挨拶

日頃より当協議会の活動にご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

本協議会は、2009年の設立以来、 β -グルカンに関する正確な情報発信、科学的エビデンスの蓄積、社会実装の推進を目的として活動してまいりました。この間、 β -グルカンの研究と利用は大きく発展し、学術・産業の両面で社会的な認知が広がっています。

β -グルカンは、細菌・真菌・植物をはじめとする自然界に広く存在し、その構造や機能性は多様です。免疫調節作用や代謝改善作用に関する研究は国内外で進展し、Dectin-1受容体研究や大麦 β -グルカンの作用機序解明に代表されるように、基礎から臨床応用を見据えた研究成果が蓄積されています。また、機能性表示食品制度などを通じ、科学的根拠に基づく製品展開も進んでいます。

近年、健康科学分野では、エビデンスに基づく栄養学(EBN)、免疫学・腸内細菌学との融合研究、そして国際共同研究の加速が進んでいます。 β -グルカン研究においても、国際的なデータ共有、標準化、研究ネットワーク構築が重要な課題となっています。当協議会としても、産学官の連携を強化し、日本発の研究成果を国際社会へ発信していく役割を一層担ってまいります。

今後も、科学的根拠に基づく正しい知識の普及、研究者・企業・社会をつなぐハブとしての機能を高め、 β -グルカンの価値を国内外へ広く届けてまいります。引き続き、皆さまの温かいご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



β-グルカン協議会会長
東京薬科大学 名誉教授
大野 尚仁



β-グルカン協議会の目的

β -グルカンについての科学技術的知識の蓄積を図り、広く国民の理解を得るための啓蒙活動を通じて、人々の健康に寄与し、ひいては、関連産業の健全な発展に資することを目的とします。



β-グルカン協議会活動内容

目的を達成するため、下記の活動を行います。

○科学技術的知識の蓄積

- ・ β -グルカンに関する調査、情報収集・分析結果に基づき会員企業が公表する科学技術的知識の蓄積と体系的整理。
- ・今後の研究方向についての意見交換

○啓蒙活動

- ・ β -グルカンの機能等に関する講演会(セミナー、シンポジウム)の開催。
- ・他の組織が開催する講演会への講師の派遣。
- ・インターネット、マスメディア、書籍等を通じた科学的データの提供。
- ・国内外の研究者との意見交換。
- ・消費者のオピニオンリーダーとの意見交換。

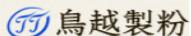
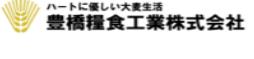
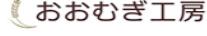
○関連産業の健全な発展

- ・製品表示についてのあり方についての検討
- ・ β -グルカンのイメージを損なう活動の監視。

○趣旨にご賛同の上、本会への入会を希望する会社は、[イベント申込み・問い合わせフォーム](#)にて事務局にお問い合わせください。

○入会資格

- ・ β -グルカンに関し、その製造、販売、使用に携わっている会社。又は、事業として検討している会社。
- ・ β -グルカンに関し、学術研究を行っている者。

| | | |
|--|---|---|
|  パン酵母由来「パン酵母β-グルカン」 オリエンタル酵母工業株式会社 〒174-8505 東京都板橋区小豆沢3-6-10 TEL:03-3968-1127 www.oyc.co.jp |  黒酵母β-グルカン 株式会社アウレオ ■東京事業本部 〒105-0014 東京都港区芝2-14-5 芝千歳ビル6階 TEL:03-6634-7847(代表) ■本社工場 〒292-1149 千葉県君津市かすさ小糸54番地1 https://www.aureo.co.jp/ |  黒酵母β-グルカン 「ブラックナイン」 グローブサイエンス株式会社 〒113-0021 東京都文京区本駒込2-29-24 グローブビル TEL:03-5981-9449(代表) www.globescience.co.jp |
|  大麦β-グルカン 「機能性大麦βグルカンリッチ粉」 みたけ食品工業株式会社 〒335-0023 埼玉県戸田市本町1-5-7 TEL:048-441-3420 www.mitake-shokuhin.co.jp |  鹿角靈芝「王角」β-G-MAXエキス粒 (健康補助食品) 鹿角靈芝「王角」200メッシュ原体粉末 (業務用原料) 鹿角靈芝「王角」抽出処理粉末(業務用 原料) 株式会社 坂本バイオ 〒010-1233 秋田県秋田市雄和女米木 字高麗沢25番地 TEL:018-886-3001 http://www.sakamotobio.com/index2.php |  大麦粉ふんわり(大麦粉) つこうてみんね(大麦レトルト加工品) 鳥越製粉株式会社 〒812-0014 福岡県福岡市博多区比恵町5-1 TEL:092-477-7110 http://www.the-torisei.co.jp/ |
|  フルグラ® カルビー株式会社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-3 丸の内トラストタワー本館22階 TEL:03-5220-6222 http://www.calbee.co.jp |  ユーグレナ(パラミロン) 株式会社ユーグレナ 〒108-0014 東京都港区芝5-33-1 TEL:03-3455-4907 http://www.euglena.jp |  押麦、発芽押麦、大麦シリアル、もち麦 豊橋糧食工業株式会社 〒441-8033 愛知県豊橋市入船町33番地 TEL:0532-45-2155 http://www.t-ryoshoku.co.jp |
|  キングアガリクス100 東栄新薬株式会社 〒181-0013 東京都三鷹市下連雀1-11-23 TEL:0422-26-7310 FAX:0422-26-7230 https://www.toeishinyaku.com/ |  Keep the Earth Sky-blue 神鋼環境ソリューション KOBE CO ECO-SOLUTIONS CO,LTD. ユーグレナグラシリスEOD-1株 (EOD-1株由来パラミロン) 株式会社神鋼環境ソリューション 〒651-2241 神戸市西区室谷1丁目1番4号 TEL:078-992-6957 https://www.kobelco-eco.co.jp/ |  黒酵母由来 「アクアジー・マックススーパー」 黒酵母由来「BYFL(バイフル)」 一光化学株式会社 〒719-0303 岡山県浅口郡里庄町浜中93番地の59 TEL:0865-64-2359 FAX:0865-64-5787 https://ikko-kagaku.co.jp/ |
|  大麦ダクワーズ、大麦マカロン 大麦おからクッキー、大麦粟テリーヌ 株式会社大麦工房ロア 〒326-0005 栃木県足利市大月町3-1 TEL:0120-37-4458 https://oomugi.co.jp/ |  ミネラルZ βグルカン 椎茸発酵ミネラル抽出液 株式会社エムマジック 〒150-6018 東京都渋谷区恵比寿4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー18階 TEL:03-5789-5728 https://mineralz.jp/ |  健康にアイデアを meiji 明治まるごとオーツ オーツミルク 株式会社 明治 〒104-8306 東京都中央区京橋二丁目2番1号 京橋エドグラン https://www.meiji.co.jp/ |

β-グルカン協議会 設立 15 周年記念講演会 抄録集

発行日 2026 年 2 月 18 日

発行人 β-グルカン協議会

<https://www.bga.jp/>